

**教育に関する事務の管理及び執行の状況  
の点検及び評価の結果報告書**

(平成27年度分)

平成28年9月

**豊山町教育委員会**

# 目 次

第一部 点検・評価制度の概要	1
I 経緯	
II 点検・評価の対象	
III 点検・評価の方法	
第二部 教育委員会の活動状況の点検・評価	2
I 教育委員会会議の開催と審議状況	
II 教育委員の活動状況	
第三部 主要施策と事業の自己点検・評価	3
I 生涯学習の分野	3
II 家庭教育の分野	7
III 学校教育の分野	9
IV 文化財の分野	18
V 芸術・文化の分野	20
第四部 学識経験者による評価	21

# 第一部 点検・評価制度の概要

## I 経緯

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という）が改正され、平成20年4月から、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検・評価」という）を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出し公表しなければならないとされた。また、点検・評価を行う際には、教育に関して学識経験を有する者の知見を活用することが求められている。

本町教育委員会は、これを受け、上記の法に基づく点検・評価を行い、より質の高い教育行政の推進と町民への説明責任を果たすため、ここに報告書をまとめることとする。

## II 点検・評価の対象

平成27年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況

## III 点検・評価の方法

本町教育委員会は、平成27年度の実績をまとめ、基本方針と施策に掲げた関連事業を「必要性」、「有効性」、「効率性」、「達成度」の4観点から下記評価基準によって自己点検・自己評価を行い、評価報告書にまとめ、平成28年9月の教育委員会会議で議決した。

また、この点検・評価を行うにあたっては、「豊山町教育事務執行等外部評価委員（以下「外部評価委員」という）」の知見を活用し、外部評価委員の意見を報告書に掲載した。

**(図表1 評価基準)**

評価記号	基準
S	良い。現在の水準を維持し継続する。
A	概ね良い。内容を更に充実して継続する。
B	良いが、見直しをし、改善して継続する。
C	評価が低い。抜本的に見直しをするか、廃止をする。

### **(参考 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抄))**

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 第二部 教育委員会の活動状況の点検・評価

### I 教育委員会会議の開催と審議状況・・・【総合評価 A】

#### 【平成27年度の実施状況と成果】

教育委員会定例会を12回（昨年度12回）、教育委員会臨時会を0回（昨年度3回）開催した。会議では、豊山町教育委員会の会議に関する規則の規定に基づき、20件（昨年度30件）の議案を審議・可決したほか、54件（昨年度55件）の報告を受けた。

※ 詳細については、町のホームページで公開しております。

#### 【評価】（今後の課題・問題点・取組も含めて）

教育に関する様々な議題について審議し、教育委員会としての意思決定をするとともに、各種議題や事業の進捗状況等の報告について、委員と事務局との意見交換を積極的に行った。

### II 教育委員の活動状況・・・【総合評価 A】

#### 【平成27年度の実施状況と成果】

- ① 教育委員は教育委員会会議のほかにも、関係機関・学校関係諸行事にも参加した。
  - ア 総合教育会議 1回（新規事業）
  - イ 学校訪問（1日訪問） 2校（昨年度2校）
  - ウ 町教育委員会学校訪問 2校（昨年度2校）
  - エ 校長との合同会議（学校経営の現状報告と情報交換） 3回（昨年度3回）
  - オ 入学式、卒業式、運動会、体育大会等 4校（昨年度4校）
  - カ 視察研修 0回（昨年度0回）
  - キ 愛知県市町村教育委員会連合会総会・研修会 1回（昨年度0回）
  - ク 愛日地方教育事務協議会会議 6回（昨年度6回）
  - ケ 西春日井地区教育委員会連絡協議会総会 1回（昨年度1回）
  - コ 西春日井地区教育委員会連絡協議会研修会 1回（昨年度1回）
  - サ 西春日井地区教育委員会連絡協議会視察研修 1回（昨年度0回）
  - シ 豊山町教育委員会研修会 1回（昨年度0回）

#### 【評価】（今後の課題・問題点・取組も含めて）

教育現場の現状把握や意見交換を積極的に行うとともに、他の市町との調整・意見交換会議、現地視察等に参加して幅広い視野から教育の在り方を検討した。

### 第三部 主要施策と事業の自己点検・評価

#### I 生涯学習の分野

- 冊子『豊山町の生涯学習・平成27年度のまとめ』（以下『まとめ』と省略する）を参照

5年後の豊山町のめざす姿	子どもからお年寄りまで、誰もが一人一人のライフスタイルに応じて、生涯にわたっていつでも新しい知識を修得したり、学習やスポーツなどの活動を通じて余暇時間をいきいきと過ごすことができる環境を整えます。	総合評価	A
--------------	--	------	---

事業1-1	生涯学習のまちづくりの計画的な推進	評価	A
目標	社会経済の状況、地域での学習環境の変化、学習活動内容の多様化などに対応した生涯学習のまちづくりを一層推進するため、生涯学習基本構想・基本計画に基づき、計画的に生涯学習のまちづくりを推進する。		

推進計画の期間 平成22年度から平成31年度までの10年間

テーマ「だれもが 学びをつなぐ 人が輝く生きがいタウン」＜『まとめ』P8～10参照＞

#### 基本目標1「だれでもどこでも学ぶ意欲を育む生涯学習」と施策

- ① 学習機会を提供し、生涯学習を身近なものにします
- ② 家庭と地域が一体で豊かな心を育てます
- ③ 生涯学習施設などの有効な活用を進めます
- ④ 利用しやすい学習情報を提供します

#### 基本目標2「ともに学び、伝え、交流を広げる生涯学習」と施策

- ① 生涯学習の担い手を広げます
- ② サークル活動を活性化します
- ③ 学習成果を活かす機会を広げ、学びを通して、交流活動を進めます

#### 基本目標3「人が輝くまちづくりにつながる生涯学習」と施策

- ① 地域活動やボランティア活動を支援します
- ② 一人一人の活動がまちづくりにつながる意欲を育てます

- 教育分野・福祉分野・ボランティア分野の各代表を委員として構成された、生涯学習推進審査会を毎年3回ずつ開催した。審査会では、まちづくりに向けた基本構想・基本計画の事業点検・評価を審議し、推進している計画内容を検討した。
- 現在、平成22年度からの豊山町第4次総合計画の基本構想（10年間）の、平成27年度からの後期基本計画（5年間）中であり、順調に推進している。

事業 1-2	学ぶ機会の充実	評価	A
目 標	町民の主体的な参画や大学や企業との連携を一層強化し、体験型講座や地域に密着した学習メニューなど、町民のニーズに対応した学ぶ機会の拡充に努める。		
実施状況と成果	<p>① 生涯学習講座内容の充実 &lt;『まとめ』P11~17 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊寿大学、ローラさんのやさしい英会話、飾り巻き寿司講座、パソコン講座（基本・充実編）、郷土の歴史を巡る講座、そば打ち道場の開講</li> </ul> <p>② 家族芸術劇場・サロンコンサートの開催 &lt;『まとめ』P19 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に楽しめる昼のミニコンサート「クラシック」の演奏 年 4 回開催 1 回の参加者 23~67 人【前年比 14 人増】</li> </ul> <p>③ 住民参画による生涯学習の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいひろば・放課後子ども教室・子ども会・スポーツ少年団などの活動に、文化協会や体育協会所属クラブやサークルなどの参画</li> </ul>		
評価と課題 ・改善策	<p>○ 講座が一部マンネリ化しているという指摘があったものの、子育て支援やスポーツも含めた幅広い分野での講座では、充実した活動がなされた。</p> <p>○ 課題として、町民のニーズに適合した新しい講座を提案してもよかったのではないか。受講者の事後アンケートをさらに分析し、町民の声に耳を傾ける機会を増やす試みが必要ではなかったのか、検討課題である。</p>		

事業 1-3	学習活動支援の人的体制の整備	評価	B
目 標	講師や指導者、ボランティアなど生涯学習に関わる人材を確保・育成するとともに学習した知識や技術を活用する場の確保に向けた取組を推進する。		
実施状況と成果	<p>① 生涯学習ボランティアバンクの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習ボランティアの募集と登録（7 分野） 趣味（将棋・ビデオ編集・編み物・陶芸・茶道・工作実験・折り紙など）、家庭生活（美容・子育て）、教養（韓国語）、 体育レクリエーション健康（バウンドテニス・ミニソフトバレー・ウォーキング・健康づくり・ダンスなど）、伝承文化（太鼓・三味線）、 地域活動（生涯学習）、国際交流（交流活動）</li> </ul> <p>② サークル登録制度とサークル活動の活性化 &lt;『まとめ』P10 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化協会や体育協会に所属していないサークルやグループの登録</li> <li>・仲間作りと人材育成のサポートやその手伝い 太極拳（3 団体）・スポーツ吹矢・水墨画教室</li> </ul>		
評価と課題 ・改善策	<p>○ ボランティアバンク登録の「ふれあいひろば」は、順調に活用され、成果も多かったが、対象者が「一般」の分野では、ほぼ活用がなかった。</p> <p>○ サークル登録募集の趣旨が十分に浸透していないため、登録団体は増えていない。また、受講生が講師になって講座を開設する構想も実現していない。サークル情報を提供する啓発活動と情報収集が必要であった。</p>		

事業1-4	学習情報の提供と学習相談体制の整備	評価	A
目標	誰もが、いつでも、どこでも、必要な学習情報を的確に入手できる情報提供体制の充実を図る。また、生涯学習に関する相談窓口体制の構築など、生涯学習に関する情報提供、相談体制の機能の充実を行う。		
実施状況と成果	<p>① 情報提供体制の充実 &lt;『まとめ』P21 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町ホームページでの講座やイベント、生涯学習ボランティアの掲載</li> <li>・生涯学習情報誌『生きがいタウン』の発行（4月・9月の年2回）</li> <li>・広報とよやま「まなびすとコーナー」の定期掲載 講座受講生の声、生涯学習サークルの紹介などの掲載</li> <li>・生涯学習情報コーナーの設置（社会教育センター図書室内） 国県市町村・大学などの発行するパンフレットなどの設置</li> </ul> <p>② 学習相談体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びネットあいちなど、インターネットサイトの活用による生涯学習相談</li> <li>・相談後の講師やサークルなどの紹介による情報の提供</li> </ul>		
評価と課題 ・改善策	○ 広報・パンフレットなどの紙媒体の情報提供手段では限界がある。ホームページ・インターネットなどの多様な通信媒体での情報提供を進める必要があった。今後は、視聴率の高いケーブルテレビとよやまみんなのチャンネルで情報コーナーを設け、講座などを紹介する対応が求められる。		

事業1-5	学習環境の整備と活用	評価	A
目標	社会教育センターやスポーツ施設のほか、学校体育施設や学習等供用施設の設備の充実、生涯学習以外の目的で設置された施設や設備の生涯学習活動での利用拡大を図る。特に、社会教育センターでは航空宇宙関連の図書コーナーを充実する。		
実施状況と成果	<p>① 施設予約システムの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットによる予約受付（平成22年度導入） 社会教育センター・豊山グラウンド・志水テニスコート・伊勢山スポーツ広場の利用者拡大と整備拡充</li> </ul> <p>② 社会教育施設の利便性向上 &lt;『まとめ』P55・59 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育センターの利用状況（アリーナ・研修室・ホールなど） 年 4,676 件利用【前年比 155 件増】 1日平均 13 件</li> <li>・学習等供用施設の利用状況（東部・新栄・富士の3施設） 年 5,029 件利用【前年比 456 件減】 1日平均 14 件</li> </ul> <p>③ 豊山スカイプールの利用 &lt;『まとめ』P61 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月4日（土）～9月13日（日）の70日間開場 合計入場者数 46,847 人【前年比 5,151 人増】 1日平均 669 人</li> </ul>		
評価と課題 ・改善策	○ 豊山スカイプールの入場者数が大幅に増えたことは、好ましい。 ○ 社会教育施設の利用者数は、ほぼ例年通りであった。社会教育センターでの航空宇宙関連の図書コーナーのさらなる充実が望まれる。		

事業 1-6	読書活動の推進	評価	S
目 標	本に親しむ環境を整え、児童生徒に豊かな情操を育成する。社会教育センター図書室を中心に関係機関と連携を深めながら子ども読書活動推進計画の実践に努める。		
実施状況と成果	<p>① 社会教育センター図書室の利用状況 &lt;『まとめ』P57 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館日数年 283 日、貸出冊数年合計 43,531 冊【前年比 3,901 冊増】</li> </ul> <p>② 豊山町子ども読書活動推進計画の実践 &lt;『まとめ』P55・56・58 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊山町子ども読書活動推進委員会（年 4 回実施）の開催 利用者カード申請書の配付（新 1 年児童）、新刊図書の案内配付、学校図書館バーコード化への取組、読書活動の情報交換</li> <li>・親子読書会（年 4 回実施）（幼児・児童とその保護者対象） 紙芝居・紙人形劇・手遊び・おもちゃ作りなど 参加者合計 173 人（1 回平均 43 人）【前年比 22 人増】</li> <li>・おはなし会（年 1 回実施）（幼児・児童とその保護者対象） 絵本の読み聞かせ 参加者合計 152 人（月平均 13 人）【前年比 34 人増】</li> </ul>		
評価と課題 ・改善策	○ 貸出冊数が約 10%増加し、親子読書会・おはなし会とも参加者数が大幅に増えたことは、日頃の地道な読書活動推進の成果であった。3月に、子ども読書活動推進計画（第二次）が策定され、推進に寄与している。		

事業 1-7	社会体育・生涯学習スポーツ活動の推進	評価	A
目 標	スポーツ推進委員・体育振興団体の活動を支援し、社会体育・生涯学習スポーツ事業を充実する。		
実施状況と成果	<p>① 社会体育・生涯スポーツの振興 &lt;『まとめ』P45～48 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童体操教室（小学 1～3 年）23 人、幼児体操教室（2・3 歳児とその親）35 組、ノルディックウォーク教室（一般）合計 27 人、ニュースポーツ教室・フェスティバル（一般）33 人、ビーチボール教室（一般）66 人、体力・運動能力測定会（一般）44 人、ダンス（ヒップホップ）教室（一般）19 人、ミニソフトバレーボール教室（小学生と保護者）111 人</li> </ul> <p>② 第 44 回町民体育大会の開催 &lt;『まとめ』P43～45 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10 月 4 日（日）開催 参加者 2,400 人</li> </ul> <p>③ 第 10 回愛知県市町村対抗駅伝競走大会の出場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12 月 5 日（土）開催 記録 16 町村中 10 位【前年と同順位】</li> </ul> <p>④ 第 8 回とよやまエアポートビューマラソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3 月 6 日（日）開催 出場者 836 人【前年比 74 人増】</li> </ul>		
評価と課題 ・改善策	<p>○ 社会体育・生涯学習スポーツの申込者数は増えつつあり、好ましい。今後も、多世代参加型の講座・教室事業を継続すべきである。</p> <p>○ 愛知駅伝の選手確保が課題である。困難な区分については、スポーツ推進委員や体育協会の協力を得て候補者を発掘し、順位アップを図りたい。</p>		



## II 家庭教育の分野

5年後の豊山町のめざす姿	親子の対話やしつけなど家庭での親の役割が適切に発揮され、家族のふれあいが深まっています。また、学校と家庭、地域が一体となって子育ての支援や家庭教育を進めていきます。	総合評価	A
--------------	--	------	---

事業2-1	家庭の教育力向上の支援	評価	A
目標	乳幼児学級や家族ふれあい事業、絵本の読み聞かせなど乳幼児を対象とした事業を推進するとともに、体験活動など親子の学習機会の充実を目指す。また、子育てサークルの支援や親同士の情報交換、交流機会の拡充により子育てネットワークの構築を図る。		
実施状況と成果	<p>① 乳幼児学級事業の開催 &lt;『まとめ』P18・19 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家族ふれあいコンサート年3回の開催 参加者数 合計 98組・203人【前年比 41組・75人増】</li> </ul> <p>② 家族ふれあい事業の推進 &lt;『まとめ』P34・35 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄崎幹人の自然探検隊 年2回 参加者数合計 42人【前年比 10人増】</li> <li>家族芸術劇場（劇団うりんこ）「はぐれ峠のわらい鬼」開催 入場者数 午前の部78人午後の部58人 合計136人【前年比91人減】</li> <li>家庭教育講演会「伝統芸能を世界に発信」参加者60人【前年比1人減】</li> </ul>		
評価と課題・改善策	<p>○ 乳幼児学級では、以前の赤ちゃん広場から町保健センター共催のちびっこ広場に変更したことにより、対象乳幼児が1歳未満から就園前になったことで、参加者が大幅に増加し、親同士の交流がより深まった。</p> <p>○ 町保健センターと町教育委員会が、家庭教育相談など、同様な事業を実施することがあった。より一層、相互に情報の共有・連携が求められる。</p>		

事業2-2	地域の教育力向上への支援	評価	S
目標	子育てや家庭教育に関する相談体制の充実や講演会の開催をはじめ、子どもが安心して安全に放課後活動に取り組める環境づくり、家庭教育事業への父親の参加促進など、地域で家庭教育を支える体制を充実する。		
実施状況と成果	<p>① 放課後子ども教室事業の充実 &lt;『まとめ』P27 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設置数 1校区（豊山小学校）</li> <li>対象者 小学校1年生から3年生まで 登録 54名【前年比 8名増】</li> <li>開講日 給食のある月・木曜日の下校から午後4時まで 延べ72回</li> <li>活動内容 学習・ゲーム・読書・工作・外遊び・スポーツなど</li> <li>講師による交流活動 三味線・折り紙・紙芝居・人形劇・卓球など</li> </ul> <p>② ふれあいひろば事業の充実 &lt;『まとめ』P25・26 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>合い言葉「子どもは地域で育てよう」 小中学生だけでなく、保護者や地域の大人も参加できる多世代参加型の文化・スポーツ教室</li> <li>陶芸・茶道・太鼓・三味線・将棋・バウンドテニスなどの16種目</li> </ul>		

<p>評価と課題 ・改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放課後子ども教室の登録率（利用率）は 29%だが、コーディネーターと指導者の温かい指導により、保護者にも好評で参加者が増えている。遊びを通じた地域住民との交流も多く、充実した活動をする事ができた。</li> <li>○ ふれあいひろばは、保護者・祖父母も参加できる、地域と連携した事業として充実した活動がなされている。土曜日の子どもの居場所づくりに大きく貢献している。放課後子ども教室とともに、事業は定着している。</li> <li>○ 「地域の子どもは地域で育てる」ためにも、地域住民が地域ぐるみで地域の子どもたちを育てる、地域の教育力の向上が求められている。</li> </ul>
-----------------------	---

事業2-3	子どもの豊かな心を育む学習支援	評価	A
<p>目 標</p>	<p>青少年健全育成団体のネットワークを強化する中で、青少年リーダーの発掘・養成を図るとともに、スポーツ少年団や子ども会の活性化、青少年健全育成のための諸活動の充実連携に努める。</p>		
<p>実施状況と 成果</p>	<p>① 青少年育成団体による巡回指導事業 &lt;『まとめ』P27~30 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動（夏季・冬季） 少年補導委員・学校職員・PTAによる合同街頭指導での啓発活動</li> <li>・ 夏季（計6回）延べ38人、冬季（計4回）延べ11人参加</li> <li>・ 巡回場所 各小中学校区、公共施設、エアポートウォーク、神明公園、夜間開催の三菱重工の夏祭り・とよやまDEないと会場</li> </ul> <p>② スポーツ少年団への支援 &lt;『まとめ』P30~33 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ少年団の登録率24.7%【前年比3.1%減】 野球63人、サッカー55人、空手58人、卓球30人、バレーボール24人、剣道16人 合計246人【前年比17人減】</li> <li>・ 他地域スポーツ少年団（岐阜県関市・奥山キャンプ場）への野外体験交流 台風11号接近により中止【前年参加者119人】</li> </ul> <p>③ 子ども会活動への支援 &lt;『まとめ』P34 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ドッジボール大会、カローリング交流会、どろんこ教室、子どものつどい、長野県阿智村清内路交流、子ども会新聞発行への支援</li> </ul>		
<p>評価と課題 ・改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校・PTA・少年補導委員・町教育委員会が互いに連携しながら事業を進めた。小中学校生徒指導推進協議会を中心に、小中学校の生徒指導や情報交換などの連携の強化に努めた結果、非行防止に有効であった。</li> <li>○ 不人気であったカローリングでは、参加者で特別ルールを定めた結果、好評となった。参加者の意見を聞く会を設けたことが良かった。</li> <li>○ スポーツ少年団員や子ども会員が年々減少しているのが課題であるが、子ども会では、中学生のジュニアリーダー発掘に努めている。</li> </ul>		

### Ⅲ 学校教育の分野

5年後の豊山町のめざす姿	子どもたちが基本的な学力を身に付け、道徳教育や体験活動を通じて命と人権を大切にして、夢に向かってともに生きる心を育てています。また、教員は教育の専門家として自覚を高め、高い実践力と指導力を備えていきます。	総合評価	A
--------------	--	------	---

事業3-1	地域に開かれた学校経営の推進	評価	A
目標	学校評議員や学校関係者評価委員による学校評価活動に保護者をはじめ地域住民の参画を促し、地域全体で学校経営を評価・改善していく取組を推進する。		
実施状況と成果	<p>① 学校関係者による学校評価委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒や保護者の外部アンケートを含めた自己評価の実施</li> <li>・学校評議員や保護者で組織する学校関係者評価委員会を年2回以上開催</li> <li>・学校の自己評価結果を検証・改善・見直し、広く地域に公表</li> </ul> <p>② 地域住民参画の推進【小学校の一例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【新栄小】「地域の子どもは地域で育てる」開かれた学校の推進マラソン大会などの学校行事に多くの保護者・地域の方々の参観</li> <li>・【志水小】ボランティア募集案内の配付により、家庭・地域から広く人材を確保 外部講師（ゲストティーチャー）による出前講座を積極的に活用</li> </ul>		
評価と課題・改善策	○ 自己評価・学校関係者評価の実施と公表により、説明責任を果たすことができた。保護者や地域住民の理解と参画を得て、学校・家庭・地域との連携による、地域に開かれた学校経営を推進することができた。		

事業3-2	学習指導・教育環境の整備拡充	評価	A
目標	全小中学校の非構造部材の耐震対策を進める。また、将来的な建替えも含めた改修計画を策定し、防犯性・教育環境の向上、情報教育への対応のための施設・設備の整備・改善を進める。		
実施状況と成果	<p>① 学校施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3小学校では、体育館（講堂）天井の耐震対策は完了済み</li> <li>・【豊山小】講堂天井等改修・本館西トイレ改修・北駐車場側溝改修</li> <li>・【新栄小】多目的室増築・体育館トイレ改修・西門通路改修</li> <li>・【志水小】本館西トイレ改修・廊下改修</li> <li>・【豊山中】理科室換気扇設置</li> </ul> <p>② 情報教育環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器のリース更新に伴う、タブレット・ノート型PCの整備</li> </ul>		
評価と課題・改善策	○ 各校とも校舎の老朽化が進行しているため、安全な学習の場・快適な学習環境の場の提供が求められる。今後、地震発生時の避難場所として、非構造部材（窓ガラスや壁面など）の改修が計画されている。		

事業3-3	特色ある学校教育の推進	評価	S
目標	基礎学力の向上や豊かな心を育てる特色ある学習活動や教育活動を実践する。外部講師の招へいや学校行事への地域住民の積極的な参加を促すなど、地域や企業・事業所等との連携による開かれた教育活動を推進する。		
実施状況と成果	<p>① 特色ある教育活動の実践例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【豊山小】 どじょう寿司を味わう会（3年生）、茶道体験（6年生）、和太鼓教室（4年生）、魚のさばき方教室（5年生）、介護施設「しいのき」訪問（5年生）、動物ふれあい講座（1年生）</li> <li>・【新栄小】 一輪車検定、運動会ダンス（全児童）、親子観劇会（全児童）、もちつき会（5年生）、豊山太鼓の体験（3年生）、サツマイモ掘り・タマネギ収穫（2年生）、点字教室（4年生）、大山川水生生物調査（5年生）、空港イベント事業「空の日」に合唱隊参加</li> <li>・【志水小】 児童会によるアルミ缶回収活動・エコキャップ活動・演劇鑑賞会（全児童）、北部市場による魚食文化を学ぶ・命の講座（5年生）、下水道講座（5年生）、身近な自然を見つめる・環境学習（4年生）</li> <li>・【豊山中】 1年生のスキー研修 長野県へブンス園原でのスキー体験</li> </ul>		
評価と課題・改善策	○ 各校では、外部講師や地域住民の積極的な参加による、多種多様な特色ある教育活動が数多く展開された。特に、中学生のスキー研修は、他校にはない魅力ある校外体験事業であり、好評を得ている。		

事業3-4	健やかな児童生徒の育成	評価	A
目標	児童生徒が健康で安心して義務教育を受けられるよう、食生活の指導や健康診断の実施、心理カウンセラーによる相談事業など児童生徒の心身にわたる健康の維持・増進を図ります。登下校時の安全対策や不審者対策など安全体制の確立、特別な支援教育を要する児童生徒への支援・指導を推進する。		
実施状況と成果	<p>① 年間を通した学校保健計画での取組（保健教育での実践）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「保健体育」や関連した教科（生活科・家庭科など）による保健学習</li> </ul> <p>② 各校での学校保健活動の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「早寝早起き朝ごはん」運動、毎月の保健目標での取組</li> <li>・【豊山小】 毎月1回「ノーテレビ・ノーゲームデー」の取組</li> <li>・【新栄小】 むし歯予防「フッ化物洗口」の実施 1～3年生対象3年目</li> <li>・【志水小】 保健目標「朝日を浴びて昼間は活躍夜はボタン休」の取組</li> <li>・【豊山中】 「喫煙防止教室」「薬物乱用防止教室」「生と性の教室」の開催</li> </ul> <p>③ 安心安全講習会の開催（学校安全計画による）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【3小学校】 自転車での交通安全教室の実施（小学3年生）</li> <li>・【豊山中】 「地域の方（保護司）のお話を聞く会」「人権のお話を聞く会」</li> </ul> <p>④ 町支援員の加配</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊山小1名（介助）志水小1名（特別支援）豊山中2名（介助・通訳）</li> </ul>		
評価と課題・改善策	<p>○ 地道な交通安全指導により、児童生徒の大きな交通事故はなかった。</p> <p>○ 個に応じた指導の充実により、特別支援学級への希望者が増加した。</p>		

事業3-5	安全で安心できる学校給食の提供	評価	A
目標	給食センターの施設設備や新たな調理システムの導入に向けた調査研究を行うなど、学校給食体制を充実し、食の安全確保や食育の取組を推進する。		
実施状況と成果	<p>① 給食センター運営・献立委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>給食センターの業務や献立についての調査研究と審議</li> </ul> <p>② 食育の講習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【志水小】「やさいを食べよう」出前講座（カゴメ）3年生児童 「手づくりおやつ」出前講座（東邦ガス）6年生児童 など</li> </ul> <p>③ 食の安全講習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【全校】食物アレルギー児童の保護者との面談 4月当初 1年生</li> <li>【豊山小】【新栄小】【豊山中】エピペン研修会（対処法）へ参加</li> <li>食（食中毒防止）の安全講習会 年1回開催 対象者 調理員・配膳員・栄養教諭・用務員・学校給食主任など</li> </ul>		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 親子のふれあい給食での栄養教諭による栄養指導は好評であった。</li> <li>○ 安全な食材の確保と食育の推進、特に、食物アレルギーへの対応には、学校と給食センターが協力し、事故のないよう万全を期した。給食では異物混入のないよう常に細心の注意を払って日々取り組んでいる。</li> </ul>		

事業3-6	教員の資質向上	評価	S
目標	町内小中学校における授業研究を中心とする校内現職教育を進め、教員の資質向上（教師力向上）をめざす。		
実施状況と成果	<p>① 校内現職教育の充実（現職教育の研究テーマ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【豊山小】「学力の向上や豊かな心の育成を目指す指導法の工夫」 —一人一人の実践（スキルアップ研修）を通して—</li> <li>【新栄小】「言葉の力を身に付け、よりよく生きようとする児童の育成」 —学習習慣の確立と伝え合う力を育む指導の工夫—</li> <li>【志水小】「言語の役割を踏まえた指導の工夫（3年次）」 —国語と道徳の授業研究を通して—</li> <li>【豊山中】「豊かな心をもち、生き生きと活動する生徒の育成」 —心に響く道徳の授業を通して—</li> </ul> <p>② 第9回豊山町夏季研究協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜聖徳学園大学から講師（名倉裕一氏）を招聘し、町内全教員で研修 豊山小5年生「感動のある道徳授業の展開について」の模範授業</li> </ul>		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業力向上は教員の最優先事項である。各校では研究テーマのもと授業研究を中心に、町教育委員会では道徳の研修を中心に、研修を深めた。</li> <li>○ 町内全教員が参加する夏季研究協議会は、町独自の熱心な取組である。教師力、教員の資質・能力の向上は、最重要課題である。</li> </ul>		

事業3-7	魅力ある教員の養成	評価	A
目 標	経験豊かな教員の実践的知識や指導技術を次世代に引き継ぎ、若手教員を確実に育成する。		
実施状況と成果	<p>① 経験や職務内容に即した研修機会の参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習や生徒指導など、実践的指導力の向上（初任者研修・少経験者研修）</li> <li>・専門職としての資質能力の向上 養護教諭・特別支援学級担任・事務主任・保健主事・生徒指導主任など</li> </ul> <p>② 町講師研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町採用非常勤講師（14名）を対象に、年4回の研修会の実施 教員としての心構え、研究テーマ設定後の『実践報告書』の作成 授業研究会の後、『実践報告書』をもとに研究協議会の開催</li> </ul> <p>③ 不祥事根絶に向けた研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報漏洩、交通事故・違反、体罰・暴言、セクハラ・わいせつの防止 『職場協議資料』をもとに、小グループでの話し合い</li> </ul>		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町講師対象の研究会は、実践的内容で若手教員の育成に効果的である。</li> <li>○ 若手教員が年々増加している。学年構成や校務分掌では、若手教員をベテラン教員とペアを組み合わせることで成果を挙げている。</li> </ul>		

事業3-8	校務支援の推進	評価	A
目 標	会議等の削減、組織の効率化を図り、校務処理のIT化・共同実施化を推進し、教職員の負担を軽減する。		
実施状況と成果	<p>① 会議の削減・校務の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー上での「C4th会議室」活用の推進</li> <li>・【豊山小】会議資料の電子化の推進 ノーペーパーへの取組 連絡掲示板の活用 打ち合わせ時間の短縮 ICT研修会（ソフトウェア活用研修会）の実施 年1回</li> <li>・【新栄小】電子黒板や教材提示装置などの機器を活用した授業の展開</li> <li>・【志水小】【豊山中】打合せ・会議の精選 一人一役の校務分掌の分担制</li> </ul> <p>② 学校事務の共同実施化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・C4thの活用による事務処理の効率化・適正化 子どもと向き合う時間の確保に向けて、サーバー上でやりとりの実践</li> <li>・豊山グループとしての組織的な事務処理 事務職員のOJTの推進</li> </ul>		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ノー残業デー・リフレッシュデーなどの設定による、教職員の多忙解消への取組は喫緊の課題である。教職員の負担を軽減し、子どもと向き合い、教育に専念できる環境づくりを早急に推進していくべきである。</li> </ul>		

事業3-9	教員に対する支援チームの結成	評価	A
目 標	保護者・地域からの要望には学校全体で対処し、その解決に全力を尽くす。 状況に応じて関係機関との連携を図る。		
実施状況と 成果	<b>① 外部ボランティアやゲストティーチャーによる支援</b> ・ P T Aや地域住民による絵本・紙芝居の読み聞かせ、人形劇鑑賞会、もちつき会、交通安全教室、老人クラブによる登下校見守り隊など ・【豊山小】総合的な学習での伝統芸能鑑賞「木遣り」「神楽」「太鼓」 家庭科での調理実習「どじょう寿司」「魚のさばき方教室」 ・【新栄小】生活科「農作物」、社会科「町探検」「昔の暮らし」でのお話 <b>② 企業・事務所との連携による支援</b> （キャリア教育での取組と兼ねる）		
評価と課題 ・改善策	○ 多種にわたるボランティアや外部講師の支援は、心強く頼もしかった。 ○ 社会経験の豊富な地域住民が、学校の応援団員となって地域デビューし学校を支援することが、新たな社会参画への始めの一步となる。身近な地域の学校を核に、地域住民と子どもたちを結ぶ地域の絆づくりを今後もさらに進めていくことが求められている。		

事業3-10	キャリア教育の確立	評価	A
目 標	キャリア教育の充実に取り組み、児童生徒の発達段階に応じた勤労観や職業観を育成する。		
実施状況と 成果	<b>① キャリア教育に関わる出前講座の活用</b> （3小学校の実践例） ・ 4年生 地元農家による「農家の仕事を聞く会」「タマネギ収穫体験」 ・ 5年生 名古屋市中央卸売北部市場による「魚食文化を学ぶ・命の講座」 県職業能力開発協会による「ものづくり（左官・表装）出前講座」 地元音楽関係者による「いろはに邦楽」「合唱出前講座」 航空会社の現役パイロット・客室乗務員による「F D A航空教室」 航空会社による「MR J出前教室」 ・ 6年生 地元業者による「和菓子づくり講座」 愛知県建設部による「まちづくり出前講座」 <b>② 職場体験学習・進路学習の実施</b> （豊山中の実践例） ・ 2年生 町役場・介護福祉施設「しいのき」「いこい」・保健センター・ 天使幼稚園・ナフコ・西友・アピタ・ヨシズヤ・トイザラスをはじめ、33か所の公共施設・福祉施設・商業施設で職場体験 ・ 2年生 旅行者による「社会人としてのマナー講習」 高等学校20校への「上級学校（高校）訪問」		
評価と課題 ・改善策	○ 各小学校では多種にわたる出前講座の活用により、中学校では職場体験学習・進路学習により、キャリア教育が推進された。特に、空港や航空機産業についての講座は、将来の町のニーズに合致した学習である。 ○ 今後も、専門的な知識をもっている社会人や職業人の外部講師から直接学ぶ機会を増やす取組で、勤労観や職業観の育成を進める必要がある。		

事業3-11	英語教育と小学校外国語活動の推進	評価	A
目標	小学校からの英語教育を充実させ、効果的な実施を進める。異なる文化や価値観を尊重し、豊かな国際性を育むために、国際理解教育の充実を図る。		
実施状況と成果	<p>① <b>ALT（外国語指導助手）の配置</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTと担任とのTT（ティーム・ティーチング）による英語教育の推進 小学1年生からの英語によるコミュニケーション能力の育成</li> </ul> <p>② <b>校内現職教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTと担任とのTTによる小学校外国語活動授業研究の実践</li> <li>・ALTを講師として、語学力の向上に努めた英語教育研修会の開催</li> </ul> <p>③ <b>国際理解教室の効果的な活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【志水小】外国の異なる文化や生活習慣を知ろうとする態度の育成</li> </ul> <p>④ <b>英会話への挑戦</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【新栄小】学習発表会で英語劇「因幡の白うさぎ」の発表（5年生）</li> <li>・【志水小】奈良京都の修学旅行先で外国人にインタビュー（6年生）</li> <li>・【豊山中】高等学校主催のスピーチコンテストに応募（英語部）</li> </ul>		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外国人のALTとゲームをしながら直接ふれあう外国語活動授業は、低学年の小学生にとっては、新鮮で貴重な体験学習の場となっている。</li> <li>○ 多くの学校行事の中、外国語活動授業時間の確保が課題である。</li> </ul>		

事業3-12	情報教育の推進	評価	A
目標	ICT機器を活用し、児童生徒に情報活用能力や情報モラルを育成する。		
実施状況と成果	<p>① <b>ICT機器の効果的な活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【3小学校】ICT機器の効果的な活用を現職教育のテーマに導入 デジタル教科書や書画カメラの活用、効果的で分かりやすい教材提示の工夫、ICT機器を取り入れた授業の質の向上</li> <li>・【豊山中】特に社会科授業での効果的な活用（写真・動画など）</li> </ul> <p>② <b>情報モラル育成の取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【3小学校】「ケータイ安全教室」（5、6年生と保護者）</li> <li>・【新栄小】「eネットキャラバン出前講座」（6年生と保護者）</li> <li>・【志水小】「情報モラル教室」（5年生と保護者）</li> <li>・【豊山中】保護者参加の教育講演会「携帯スマホ安全教室」の開催 技術・家庭科の授業を核とした、PCタブレットの活用 コンピュータやSNSで入手した情報の適切な活用能力の育成</li> </ul>		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ パソコン教室の積極的な活用によって、児童生徒に基本的な知識・技能を定着させることができ、情報活用能力の育成に寄与することができた。今後は、PCタブレットが一人1台使用できることが理想的である。</li> <li>○ 生徒指導上からも、情報モラルの育成は必要不可欠な課題である。</li> </ul>		



事業3-13	就学援助の充実	評価	A
目 標	児童生徒の教育機会を保障するため、保護者に対して経済的な援助を行う。		
実施状況と成果	<p>① 就学困難者への援助の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就学援助法に基づいた援助の実施 経済的な理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者対象</li> <li>経済的な負担軽減のための、特別支援学級就学の援助の実施 特別支援学級に就学する児童生徒の保護者対象</li> </ul> <p>② 援助の内容（準要保護者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学用品費・通学用品費・校外活動費・新入学児童生徒学用品費・修学旅行費・医療費・学校給食費への援助</li> </ul> <p>③ 教育振興事業による援助（全児童生徒）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『明るい心・人生』の副読本、夏休み冬休みの日誌、知能検査、学力検査</li> </ul>		
評価と課題 ・改善策	○ 就学支援制度の周知徹底を図りつつ、就学支援を充実させることができた。対象者に経済的な援助を行い、適正な運用に努めることができた。		

事業3-14	道徳教育の推進	評価	A
目 標	これまでの道徳教育や体験活動の在り方を見直し、地域共同体の中において地域の人材による学校支援ボランティアを活用し、豊かな心を育成する観点を一層重視する。		
実施状況と成果	<p>① 挨拶・ふれあいでの交流【3小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校支援ボランティアによる登下校での挨拶運動と見守りでの交流</li> </ul> <p>② 読み聞かせの実施【3小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>P T Aや地域ボランティアによる本の読み聞かせを定期的に実施 本への興味・関心を高め、読書習慣の育成と定着化</li> </ul> <p>③ シニア事業「学校へ行こう！キャンペーン」での交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【豊山小】「木遣を聴く会」「神楽を学ぶ会」「豊山太鼓指導」「どじょう寿司を味わう会」「魚のさばき方指導」など</li> <li>【新栄小】運動会ダンスでの交流、バラの剪定指導、昔のくらしのお話</li> <li>【志水小】読書会ボランティアによる人形劇鑑賞と給食での交流 昔の遊び指導、フラダンス指導と給食での交流</li> <li>【3小学校】もちつき会交流、親子除草作業などでの交流</li> </ul>		
評価と課題 ・改善策	<p>○ 「学校へ行こう！キャンペーン」でのシニアの方々との多くの交流は、地域の絆づくりにとって、実りの多い事業となった。多くの学校支援ボランティアの協力が、児童生徒の豊かな心の育成の一助となった。</p> <p>○ 平成30年度開始予定の「道徳の教科化」に向けた現職教育（例えば、指導方法の工夫・評価の仕方など）の研究が、今後の課題である。</p>		

事業3-15	学校体育・スポーツ活動の推進	評価	S
目標	体力向上に向けた取組を学校体制で実施する。部活動や対外活動を支援するための外部指導員を拡充する。		
実施状況と成果	<p>① 体力づくりの工夫【新栄小の実践例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一輪車・なわとび集会・マラソン運動への積極的な取組</li> </ul> <p>② 小学校での水泳教室【3小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季休業中の「水泳教室」(15m泳げない児童を対象)による成果</li> </ul> <p>③ 部活動での活躍</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【小学校】小学校東ブロック地区サッカー・バスケット競技会の結果 サッカー(豊山小優勝) バスケット(新栄小準優勝・豊山小第3位)</li> <li>・【中学校】豊山中学校の地区大会・愛日大会・県大会の結果 野球部(地区優勝・愛日準優勝) 女子バスケット部(地区優勝・愛日第3位) 女子バレー部(地区準優勝・愛日出場) 女子卓球部(地区団体準優勝・愛日出場) サッカー部(地区第3位) 男子バレー部(地区第3位) 女子卓球部(地区個人第3位・愛日第5位・県大会出場、第5位・愛日出場) 男子テニス部(地区個人第4位・愛日出場)</li> </ul> <p>④ 部活動振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【豊山中】外部指導員の配置と部活動指導の支援(野球部・ソフト部)</li> </ul>		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小中学校とも、部活動では、素晴らしい実績を挙げた。</li> <li>○ 顧問の指導時間の軽減のためにも、外部指導員の拡充が求められる。</li> </ul>		

事業3-16	いじめ・不登校への対応	評価	S
目標	いじめを許さない学級・学校づくりを進める。スクールカウンセラーや専門家による学校支援の充実を図る。適応指導教室においては学校への復帰をめざす。		
実施状況と成果	<p>① 学校いじめ防止基本方針の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめはいつでもどこでもどの子にも起こりうる」「いじめは人として絶対に許されない行為である」ことの共通認識</li> <li>・校内いじめ防止(不登校)対策委員会を月に1回開催 いじめの解消と未然・再発防止への全校態勢での取組</li> </ul> <p>② 町いじめ問題等(不登校)対策委員会の開催(年6回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導主任・スクールカウンセラー・適応指導教室担当・県家庭教育コーディネーター・担当校校長・教頭の参加による情報交換と指導</li> <li>・保護者向け啓発資料(スマホ・携帯含む)リーフレットの作成と配付</li> <li>・「いじめに関するアンケート調査」(年3回・記名式)の実施</li> </ul> <p>③ 町適応指導教室「しいのき」の活動(通室中学生3名・体験中学生2名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校への復帰をめざした通室生徒の学習支援や社会適応への取組</li> </ul>		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全校態勢でのいじめの未然・再発防止への取組は、積極的であった。</li> <li>○ 町適応指導教室においては、生徒が意欲をもって取り組める多くの活動が企画された。生徒が安心できる心の居場所としての存在価値は高い。</li> </ul>		

事業3-17	生徒指導の充実	評価	A
目 標	非行問題行動等に対しては生徒指導研修を充実するとともに、警察等町内外の学校関係機関と連携し、問題の早期発見と早期解決に努める。		
実施状況と成果	<p>① 生徒指導の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な生活習慣（挨拶・言葉遣い）の徹底と定着化への取組</li> </ul> <p>② 教育相談の充実（年3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学期に1回、教育相談を行い、児童生徒の実態把握に努め、不登校や問題行動の未然防止と、問題の早期発見と早期解決への取組</li> <li>・ 心の居場所となるような学級・学校づくりに努め、児童生徒・保護者との信頼関係の構築</li> <li>・ ケース検討会（カウンセラーも含める）による情報の共有化</li> <li>・ スクールカウンセラーとの連携の強化、家庭の心の問題に対応</li> </ul> <p>③ 学校関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町教育委員会・町福祉課・町保健センター・町適応指導教室「しいのき」・中央児童相談センター・学校医・西枇杷島警察署生活安全課などの関係機関との相互連携を密にした、未然・再発防止、早期発見と解決への取組</li> </ul>		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 警察に直接関わった検挙・補導・非行の問題行動は、なかった。</li> <li>○ 非行問題行動については、教育相談を中心に、今後も、全教職員が児童生徒の小さなサインを見逃さないように努めていくことが大切である。</li> </ul>		

#### IV 文化財の分野

5年後の豊山町のめざす姿	文化財保護の意識が浸透し、町民と行政が協働で保護に向けて取り組んでおり、郷土の文化財が身近なものとして町民に親しまれ、広く活用されています。	総合評価	A
--------------	--	------	---

事業4-1	文化財の調査・保護	評価	A
目標	文化財の調査・研究に努めるとともに、民具などの郷土資料の収集を行うほか、既存の県・町指定文化財の保護に努める。		
実施状況と成果	<p>① 文化財保護審議会の開催 &lt;『まとめ』P63 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊山町の文化財保護事業に関する点検と評価を年1回開催</li> </ul> <p>② 指定文化財の保護・保存 &lt;『まとめ』P63 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県指定文化財（有形2・寺社所有）、豊山町指定文化財（有形3・寺社所有）（記念物2・個人と寺社所有）（無形3・保存会所蔵）</li> </ul> <p>③ 郷土資料の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土資料室の所蔵している民具などの紹介</li> <li>・毎月発行している図書室だより『書窓』に「郷土資料室のページ」の掲載</li> </ul>		
評価と課題・改善策	○ 町内に現存する有形・記念物の町指定文化財に、解説付きの案内板を設置するなど、文化財の調査・保護・啓発活動を推進することができた。		

事業4-2	文化財保護意識の醸成と担い手の育成	評価	A
目標	文化財マップの作成や文化財研究会との連携を通じて、町民の文化財保護意識の醸成を図り、文化財保護を担う人材を育成する。		
実施状況と成果	<p>① 文化財マップ作成と啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財研究会が作成した『とよやま文化財まっぷ』の配付 町内小中学校の全児童生徒に配付</li> <li>・『とよやま文化財まっぷ』の有効活用 身近にある郷土の文化財に気付かせ、その保護に努める意識の醸成</li> </ul> <p>② 歴史講座の開催 &lt;『まとめ』P63 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「郷土の歴史を巡る」（年5回）参加者17人【前年比2人減】</li> </ul> <p>③ 文化財研究会の活動と支援事業 &lt;『まとめ』P64・65 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会、役員会、郷土資料整理などの活動、放課後子ども教室との交流</li> <li>・現地研修会・学習会の実施（常安寺、名古屋市東区の徳源寺・長母寺、一宮市尾西歴史民俗資料館、名古屋ボストン美術館の見学）</li> </ul>		
評価と課題・改善策	<p>○ 意欲的に活動している文化財研究会を中心に、文化財保護意識は高い。会員の高齢化、後継者不足が課題である。後継者の育成が急務である。</p> <p>○ 『とよやま文化財まっぷ』は、郷土愛を育むためにも大切な教材である。文化財保護を担う若い世代の人材育成のためにも、小中学校での社会科授業での積極的な活用が望まれる。指導できる教員の育成が課題である。</p>		

事業4-3	文化財資料の活用促進	評価	A
目 標	郷土資料室での郷土資料の展示方法を継続的に改善・充実するとともに、学校教育でも効果的に活用するなど、魅力ある地域社会の創造に向けて郷土資料を有効に活用する。		
実施状況と 成果	<p>① 郷土資料室の整理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展の展示（豊山の歴史・民俗） 民家の再現・出土品・古地図・農具・民具・竹細工などの展示</li> <li>・文化財アドバイザーによる小学生の社会科見学への説明</li> </ul> <p>② 郷土資料室展示方法の改善事業 &lt;『まとめ』P63 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展・特別展の開催 特別展示コーナー（「とよばの眼医者」「絵と図」「宝船」）の展示</li> <li>・季節や目的を絞った展示会、時節パネル『催時季』の掲示 郷土文化（昔の正月・節分・お雛さま・田植え・お祭りなど）の掲示</li> </ul>		
評価と課題 ・改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 常設展・企画展とも、来場者の見学後の感想は好評であったが、町民が何度も来場したくなるような展示方法をさらに研究する必要がある。</li> <li>○ この貴重な資料室を郷土学習の本物の教材として、小中学校での社会科授業にさらに積極的に活用していくことが課題である。</li> </ul>		

## V 芸術・文化の分野

5年後の豊山町のめざす姿	芸術・文化によって、町民の豊かな心が養われ、地域社会に潤いがもたらされます。また、指導者の発掘育成や練習場所、発表機会の充実により、自主的な活動が活発に行われています。	総合評価	A
--------------	--	------	---

事業5-1	芸術・文化活動の推進	評価	S
目標	文化振興事業やサロンコンサートを行い、町民に多くの優れた芸術・文化に触れる機会を提供する。また、町文化協会と協力して町民が自主的に行う文化活動を支援し、活動成果を発表する機会を提供する。		
実施状況と成果	<p>① 文化振興事業の推進 &lt;『まとめ』P19 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いっこく堂スーパーライブ in 豊山町」入場者数 337 人【前年比 5 人増】</li> <li>文化振興事業サポーター（公募 9 人）による企画・運営段階からの参画</li> </ul> <p>② サロンコンサート事業の開催 &lt;『まとめ』P19 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月「弦楽四重奏」入場者数 58 人、11月「小さい秋みつけた」入場者数 23 人、12月「歌で巡るヨーロッパ5か国」入場者数 67 人、3月「ヴァイオリンとハープのロマンティックな音楽会」入場者数 54 人</li> </ul> <p>③ 文化展、芸能発表会の支援事業 &lt;『まとめ』P38 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸能クラブ 16 団体が出演 総出品数 737 点【前年比 170 点減】</li> </ul>		
評価と課題・改善策	○ 文化振興事業・サロンコンサートとも入場者数が増加した。自主的な運営による文化展や芸能発表会、文化フォーラムでの盛会は、芸術・文化による潤いのあるまちづくりの振興に大いに貢献している。		

事業5-2	文化振興団体、芸術・文化活動グループや指導者の育成と支援	評価	A
目標	町民自らが自由にあらゆる場所、あらゆる機会を利用して芸術・文化活動を行うことができるよう、町文化協会の活動を支援するとともに、芸術・文化グループなどの育成と支援を行う。		
実施状況と成果	<p>① 文化振興団体の活動と支援事業 &lt;『まとめ』P38～41 参照&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化協会への助成支援（機関紙発行、文化ふおーらむの開催など）</li> <li>・加盟団体（33 クラブ・合計 438 人）の活動</li> <li>16 芸能部（豊山木遣保存会・豊山民謡クラブ・豊山太鼓研究会・尾張豊山太鼓・神楽保存会・詩吟教室・やまびこクラブなど）</li> <li>17 文化部（陶芸クラブ・囲碁将棋クラブ・読書クラブ・豊山俳句クラブ・書道クラブ・豊山写真クラブ・豊山ペン習字教室など）</li> <li>・小中学校 P T A サークル活動への支援 &lt;『まとめ』P42 参照&gt;</li> </ul> <p>② 文化施設の整備 &lt;『まとめ』P55～59 参照&gt;</p>		
評価と課題・改善策	○ 文化協会の会員数が減少している。今後、とよやまチャンネルや広報などの様々なメディアを活用して、加入促進を図っていく必要がある。		

## 第四部 学識経験者による評価

豊山町教育事務執行等外部評価委員（敬称略）

布谷光俊	元 愛知教育大学教授（元 附属名古屋小学校校長）
丹羽孝之	前 豊山町立志水小学校校長

外部評価委員会開催日時

第1回外部評価委員会	平成28年7月25日（月）	14:00～15:30
第2回外部評価委員会	平成28年8月22日（月）	14:00～15:30

### 1 布谷光俊委員による評価

#### ◎ 教育委員会の会議及び活動状況についての評価

##### I 教育委員会会議の開催と審議状況

- 役場ホームページで議事録を公開の通り、教育委員会定例会（計12回）を適正に開催・ご審議いただいている。

##### II 教育委員の活動状況

- 昨年度は、新制度による総合教育会議を初めて開催し、適正にご審議いただくとともに、例年通り、県の市町村教委連合会及び愛日地区、西春地区の教育委員会関係会議、研修等に積極的に参加していただき、他市町村との情報交換、連絡調整等に努めていただいた。
- また、昨年度も、教育委員全員による学校訪問や教育委員が手分けしての各学校行事への出席、町内4校長との合同会議の開催等を実施するなど、豊山町ならではの、教育現場を大切にしたい取り組みに努めていただいた。全委員に感謝と敬意を表したい。

#### ◎ 主要施策と事業についての評価

##### I 生涯学習の分野

- 生涯学習の分野での「5年後の豊山町のめざす姿」に向けて実施した昨年度の全7事業の総合評価Aについては、妥当な判断と思われる。

##### 事業1-1 生涯学習のまちづくりの計画的な推進

- 平成22年度から10年計画で取り組んできた本町の生涯学習基本構想・基本計画の推進状況を点検・評価するため、生涯学習推進審査会を年に3回開催するなど、本事業の組織的かつ計画的な推進努力が認められる。
- 3つの基本目標の柱立てについても、生涯学習の要所を踏まえた重要な項目ゆえ、今後もいっそうの具体化に努めたい。

##### 事業1-2 学ぶ機会の充実

- 本町が年2回発行の「生きがいタウン」にも掲載されているように、講座内容の充実や主催行事の開催、町民参画による諸活動の拡充に一定の成果が認められる。
- ただ、全国いずれの市町村においても共通の課題であるが、生涯学習についての町民の多様な意識や要望、満足度等をいかに集約・把握し、これらを毎年度の講座開設や主催行事の改善・刷

新にどう生かしていくかが、本町でも重要な課題になっていると思われる。

#### **事業1-3 学習活動支援の人的体制の整備**

- ボランティアバンク登録者の活用による「ふれあいひろば」での多世代型体験活動は、地域で子どもを育てる上でもきわめて有効ゆえ、大いに評価したい。
- 今後は、さらなるボランティア後継者の育成やボランティア活用講座の開設、新規サークル活動の発掘・育成も重要な課題になると考える。

#### **事業1-4 学習情報の提供と学習相談体制の整備**

- 「生きがいタウン」の年2回発行や町広報の「まなびすと」コーナーでの定期掲載は今後も欠かせないが、インターネット（PC版及びスマホ版の各ホームページ）やCATVの活用による新鮮で動的、親近感のある学習情報の提供についても是非考えてみたい。
- 相談体制の整備については、事業1-3の整備とも関連があるので、連動して進めたい。

#### **事業1-5 学習環境の整備と活用**

- 豊山スカイプールの大幅な入場者増は、特筆に値する。各施設・設備の生涯学習での利用拡大やインターネットでの施設予約システム等も順調に進み、効果を上げていると思われる。

#### **事業1-6 読書活動の推進**

- 昨年度の社会教育センターの図書室貸し出し冊数の大幅増、親子読書会・おはなし会の参加者数大幅増については、特筆に値する。
- これらは新1年児童生徒への利用者カード申請書の配付、子ども読書活動推進委員会の開催、毎月発行の「書窓」による購入図書の紹介等の努力による部分も大きいと考えられる。

#### **事業1-7 社会体育・生涯学習スポーツ活動の推進**

- 各スポーツ教室が微増、各大会参加者が大幅増であり、この事業の推進も順調に推移している。親子教室等、多世代で参加の教室も、子どもの健やかな成長はもちろんのこと、親同士の交流や仲間づくりにもつながり、大いに意義がある。
- 愛知駅伝の選手確保の課題については、大規模市町との人口比からしても、関係者のご苦心・ご苦労は多大かと思われるが、全町民が期待する大会ゆえ、関係機関や団体、事業所等の協力を得たり、全町民・全在勤者に啓発・呼びかけを重ねたりして、何としてでも欠員区分の候補者発掘に努め、解決したい。

## **II 家庭教育の分野**

- 家庭教育の分野での「5年後の豊山町のめざす姿」に向けて実施した昨年度の全3事業の総合評価Aについても、妥当な判断と思われる。

#### **事業2-1 家庭の教育力向上への支援**

- 乳幼児学級や家族ふれあい事業での参加者大幅増は、この種の事業への子育て世代の関心・要望が高いことを示している。
- 子育てサークルへの支援や子育てネットワークの構築については、町の関連部署・関連施設・関連団体等とのいっそうの連携により、さらに推進したい。

#### **事業2-2 地域の教育力向上への支援**

- 放課後子ども教室ならびにふれあいひろば事業の充実等については、大いに評価したい。
- なお、これらの事業の充実にご関係いただいているコーディネーターはもちろんのこと、町の生涯学習ボランティアの方々のご尽力に感謝を表したい。

#### **事業2-3 子どもの豊かな心を育む学習支援**

- 青少年の非行・被害防止県民運動への参加、少年補導員・教員・PTA役員による合同街頭指導



の実施等についても、関係者のご尽力に感謝したい。

- スポーツ少年団ならびに子ども会活動への諸支援は、子ども同士の交流・協働による成長の視点からもきわめて重要ゆえ、今後もいっそうの充実に努めたい。

### III 学校教育の分野

- 学校教育の分野での「5年後の豊山町のめざす姿」に向けて実施した昨年度の全17事業の総合評価Aについても、妥当な判断と思われる。

#### 事業3-1 地域に開かれた学校経営の推進

- 本町においても、保護者や地域住民が参画の学校評議員会や学校関係者による評価が学校経営の改善に寄与していると思われる。
- 開かれた学校経営の推進には、可能な限りの情報公開と保護者や地域住民との連携による諸教育活動が欠かせないが、各学校でのホームページの工夫・更新によるきめ細かな情報公開、学校ボランティアの募集・登録による教育支援の人材確保等々の努力を高く評価したい。

#### 事業3-2 学習指導・教育環境の整備拡充

- 学校施設整備事業は大規模予算が伴うため、計画的に順次改修せざるを得ないが、目標で「全小中学校の非構造部材の耐震対策を進める」としているため、その経過を見守りたい。

#### 事業3-3 特色ある学校教育の推進

- 町内各校が昨年度に実施した特色ある教育活動では、各教員の周到な教材研究や授業構想、諸準備はもちろんのこと、地域住民の積極的な協力や外部講師の懇切な支援によるところが大きい。すべての関係者に感謝したい。
- 町教委の英断で始まった豊山中1年生でのスキー研修。東海地区ではほとんど例を見ないが、非日常的な体験による冬季スポーツへの関心育成と運動能力の調和的な発達、団体行動による人格形成等々を図る上でも、きわめて有効と考えられるゆえ、今後も是非継続していただきたい。

#### 事業3-4 健やかな児童生徒の育成

- 昨年度の学校訪問の折にも委員自身が確認したが、各教科等での保健学習はもちろんのこと、各校保健室での創意工夫ある熱心な取組が、児童生徒の心身の健康維持・増進に大きく寄与していると思われる。

#### 事業3-5 安全で安心できる学校給食の提供

- 給食センターの献立委員会や食育の出前講座、食の安全講習会等を適宜開催するなど、食の安心・安全の確保と食の大切さや栄養バランスの指導等に関わる体制がよく整っている。
- とりわけ、食物アレルギー児童への諸対応（該当保護者との面談や除去食の提供、エピペン講習会の開催等）は、大いに評価したい。

#### 事業3-6 教員の資質向上

- 各校とも教員の授業力向上に関わる特色ある研究テーマを設定し、日々校内現職研修に励んでおられる。
- 町内の全教員が参加の夏季研究協議会では、外部講師を招聘し、道徳の模範授業を参観して種々学び合うなど、教員の授業観や授業力の向上に欠かせない研修会であり、今後も末永く継続・発展させたい。

#### 事業3-7 魅力ある教員の養成

- 経験豊かな教員の実践知や指導技術の次世代への着実な継承と、職階別・経験年数別・職務分掌別の研修、不祥事根絶に向けた校内外の研修等は、現代の教員研修の緊要の課題であるゆえ、取組の努力を評価したい。

- 町採用非常勤講師の方々を対象にした年4回にわたる研修会の開催は、将来の中核教員をめざして、教員としての力量を高めていただくためにも、きわめて効果的で有り難い。

#### **事業3-8 校務支援の推進**

- 教職員の会議の削減、諸負担の軽減は、肥大化した校務の精選・効率化を図り、教師の授業準備の時間や子どもと向き合う時間を確保するための現代的課題であるゆえ、今後も継続的に取り組み、実現したい。「C4th 会議室」活用の推進状況も、是非見守りたい。
- 豊山小での取組にも見られるように、会議資料の電子化・電子掲示板の活用等による校務のペーパーレス化や日頃の打ち合わせ時間の短縮化等に向けての努力を大いに評価したい。

#### **事業3-9 教員に対する支援チームの結成**

- 保護者・地域からの要望を学校全体で受け止め、対処するため、校内での教員支援体制の構築に努めるとともに、教育活動のいっそうの充実や児童生徒の安心・安全の確保を図るため、地域の学校支援ボランティアやゲストティーチャーとの連携、企業講座の活用等に努めている。

#### **事業3-10 キャリア教育の確立**

- 児童生徒の発達段階、学校・学年段階に応じて、各職種の出前授業を活用したり、職場体験学習を実施したりし、キャリア教育の充実に取り組んでいる。
- 本町では、いずれの学校も、児童生徒の実体験による学びを重要視してキャリア教育の充実に努めている。関係教員の諸準備・諸尽力や連携先の理解・協力に感謝したい。

#### **事業3-11 英語教育と小学校外国語活動の推進**

- この事業の推進は、4年後（平成32年度）から始まる小学校高学年での英語の教科化とも関連してきわめて重要な意味をもつゆえ、教科化への円滑な移行も視野に入れたいっそうの充実に図りたい。授業時間の確保については、短時間授業との組み合わせや集中的な時間配分の導入、他教科等との合科的な扱いを図るなど、柔軟な運用により対処したい。
- 本町では、ALTの配置による小学校1年からの英語コミュニケーション能力の育成、ALTを講師にしての英語教育の研修、修学旅行先での外国人へのインタビュー等々、特筆すべき取組が多々ある。

#### **事業3-12 情報教育の推進**

- ICT機器の効果的な活用をめざした現職教育に取り組むとともに、児童生徒の情報活用能力の育成はもちろんのこと、現代のIT社会に必須の情報モラルの育成等にも丁寧に取り組んでいる。
- 保護者も参加の「ケータイ・スマホ安全教室」の開催は、児童生徒の安心・安全の生活や健全な成長を確保する上でも、現代ならではの必須の課題ゆえ、大いに意義があったと思われる。

#### **事業3-13 就学援助の充実**

- 就学援助法に基づく援助が適正に行われていると認められる。
- ただし、我が国の子育て世代の貧困率悪化の現状からして、援助対象者の確認に漏れなきよう、今後もこの制度のいっそうの周知ならびに関係部署とのいっそうの連携が求められる。

#### **事業3-14 道徳教育の推進**

- 学校支援ボランティアによる登下校での挨拶運動や本の読み聞かせボランティアによる読書習慣の形成、シニアによる「学校へ行こう！キャンペーン」での異世代間交流等々は、児童生徒の豊かな心の育成に大きな効果をもたらしていると思われる。
- 今後は、2年後（平成30年度）から始まる道徳の教科化を見据え、学習のテーマや内容を焦点化した道徳の授業研究や道徳授業におけるアクティブラーニングの進め方の研究が求められる。

#### **事業3-15 学校体育・スポーツ活動の推進**

- 豊山町の各学校では、体力向上に向けた学校体制での各種の取組はもちろんのこと、部活動で

の対外的な活躍にめざましいものがあり、これらは児童生徒の健全な成長発達に大きく寄与していると思われる。

- 部活動支援のための外部指導員の導入・拡充は、部活動担当教員の負担軽減と教材研究や授業研究の時間確保等を図る上でも、今、全国の教育現場での共通の重要課題として求められている。豊山中の取組を評価し、見守りたい。

#### **事業3-16 いじめ・不登校への対応**

- 各校での「いじめ防止基本方針」の共通認識の徹底、各校ならびに町全体でのいじめ・不登校対策委員会の定期的な開催、スマホの弊害・利用マナーも含めた保護者向け生徒指導リーフレットの作成と配付、年3回のいじめアンケート調査の実施等々、保護者も含めた、学校ぐるみ、町の関係者総ぐるみでの取組を高く評価したい。
- 町適応教室における担当者の工夫・支援にも感謝したい。

#### **事業3-17 生徒指導の充実**

- 日頃のきめ細やかな生徒指導の下支えがあつてこそ、すべての教育活動で成果を上げることができる。日頃から基本的生活習慣の徹底と定着、心が通う学級・学校づくり、問題行動の未然防止と早期発見、関係機関との緊密な連携等々に苦心しておられる先生方に敬意を表したい。
- 昨年度は、検挙ならびに補導対象の非行が1件もなかったとのこと、上記のご苦心の結果であり、感謝したい。

### **IV 文化財保護の分野**

- 文化財保護の分野での「5年後の豊山町のめざす姿」に向けて実施した昨年度の全3事業の総合評価Aについても、妥当な判断と思われる。

#### **事業4-1 文化財の調査・保護**

- 定例の文化財保護審議会での関連各事業の点検・評価、県ならびに町の指定文化財の保護・保存、町指定文化財の案内板設置、郷土資料室所蔵資料の「書窓」による紹介等に取り組むなどして、本事業の遂行に努めたものと認められる。

#### **事業4-2 文化財保護意識の醸成と担い手の育成**

- 既作成の「とよやま文化財まつぷ」の町内全児童生徒への配付、歴史講座「郷土の歴史を巡る」(年5回)の開催、文化財研究会との連携による郷土資料の整理や現地研修会の開催、放課後子ども教室との交流等々の取組は、本町独自の特色であり、文化財保護意識醸成の視点からも、大いに評価したい。
- 文化財保護の担い手の育成については、文化財に興味・関心のある若手世代や現職を引退してこの町で有意義な暮らしを探究中のシニア世代の研究会加入を啓発・促進するとともに、文化財保護ボランティアの育成や各学校の社会科担当教員への協力依頼に努めるなどして対処したい。

#### **事業4-3 文化財資料の活用促進**

- 郷土資料室の整理事業、展示方法の改善事業については、町民の要望や来場者の感想を生かしたり、関係者を対象にしたアンケート調査を実施・分析したりして、町内の子どもや大人が繰り返しこの施設を訪れ、郷土の学びを思わず深めたくなるような展示物・展示方法等の在り方をめざし、定期的に改善・充実を図ることが緊要と思われる。
- 前述事業の文化財はもちろんのこと、諸種の郷土資料も含めて、町内各学校での生活科や社会科、総合的な学習時間等での郷土の自慢探しや郷土学習等の教材として活用していただけるよう、学・社(学校と社会教育施設)のいっそうの連携・融合を深めたい。

## V 芸術・文化振興の分野

- 芸術・文化振興の分野での「5年後の豊山町のめざす姿」に向けて実施した昨年度の全2事業の総合評価Aについても、妥当な判断と思われる。

### 事業5-1 芸術・文化活動の推進

- 公募の文化振興事業サポーターが企画段階から参画・運営の優れた芸術・文化との触れ合いや、町の文化協会と協力して町民が自主的に行う文化展、芸能発表会、文化フォーラム等々、町民の主体的な参画による、町民のための芸術・文化活動の推進は、町民の豊かな心を養い、潤いのある地域社会づくりの視点からも、大いに意義があったと考えられる。

### 事業5-2 文化振興団体、芸術・文化グループや指導者の育成と支援

- 本事業の目標に照らして、町の歴史ある文化協会の活動支援や芸術・文化サークルの育成支援、PTAの文化活動への支援等は適切であり、有効に機能していると思われる。
- 文化協会の会員数減少については、本事業の「評価と課題・改善策」の欄に記載の通り、種々の対策を図る必要がある。

## ◎ 全般に関すること

- 昨年度（平成26年度分）の点検評価でお願いした「点検評価報告書の性格上、数値化できる事業については、前年度比でできるだけ数値を明示していただけると有り難い」については、今回かなり改善されたが、次年度も「一目で分かる点検評価報告書」をめざして、引き続きこの課題に取り組んでいただきたい。
- 今回も各事業の実施状況やその成果から、事務局担当課の皆様やボランティア、サポーターの皆様の日頃のご尽力・ご苦心の跡がうかがえる。関係各位の皆様にご心より敬意を表したい。

## 2 丹羽孝之委員による評価

### ◎ 教育委員会の会議及び活動状況についての評価

#### I 教育委員会会議の開催と審議状況

- 適正な組織・計画のもと、実効性のある審議等が行われている。

#### II 教育委員の活動状況

- 教育委員等による小中学校現場の諸行事への出席、教育活動の視察・指導、各校長との合同会議での意見交換など、子どもたちを大切にそして教育現場を大切にされた活動は大変評価したい。

### ◎ 主要施策と事業についての評価

#### I 生涯学習の分野

##### 事業1-1 生涯学習のまちづくりの計画的な推進

- 多くの町民が関わり、地域に根差した組織のもと、計画が順調に進められ、温かなまちづくりが展開されている。様々な社会情勢の変化を捉えながら、時には微調整も加えつつ、誰もがいきいきと過ごすことができるまちづくりが進められることを期待したい。

##### 事業1-2 学ぶ機会の充実

- 町民の目線に立った興味深い講座等が計画され、多くの参加を得て活動が展開されている。今後に向け、町民のニーズのリサーチとともに、講座のマンネリ化の問題とも関連して、新しい受講者の開拓のための工夫を考えられてはどうか。

### 事業1-3 学習活動支援の人的体制の整備

- ボランティアバンクの活用では、小中学校のクラブ活動（課内）への講師派遣が考えられるかもしれない。
- 指導者・取りまとめ役等の継続的な確保というのは難しい問題だと思う。活動する中で教える経験をしたり運営活動に少しずつ関わったりすることから裾野が広がっていくことを期待する。

### 事業1-4 学習情報の提供と学習相談体制の整備

- 「生きがいタウン」は全戸配付ではないと聞いたがHPには掲載されているので、そうした工夫はいろいろされていると思う。活動に参加された町民の方に「とよやまみんなのチャンネル」に出発して呼びかけていただくなど、情宣活動を工夫されたらどうか。

### 事業1-5 学習環境の整備と活用

- 様々な状況を考慮されながら、町民のための学習環境整備が図られていると思う。

### 事業1-6 読書活動の推進

- 推進計画に基づき、関係機関・関係団体が精力的に活動を推進され、参加者の大幅な増加など、大きな成果が上がってきており、素晴らしい。

### 事業1-7 社会体育・生涯学習スポーツ活動の推進

- 小さな頃から楽しくスポーツに親しむ空気が町にあり、素晴らしい。関係各位のご支援・ご協力の賜物であると思う。

## II 家庭教育の分野

### 事業2-1 家庭の教育力向上への支援

- 昨今の様々な社会情勢を鑑みても、少子化や核家族化等に伴う子育て支援・子育てネットワークの重要性は増すばかりだと思う。関係部局とも緊密な連携を取られ、事業を進めていただけたらと思う。

### 事業2-2 地域の教育力向上への支援

- 合い言葉「子どもは地域で育てよう」のとおり、多くの方々が様々な場面で町の子どもたちと関わり交流されているのは、本当に素晴らしいことだと思う。

### 事業2-3 子どもの豊かな心を育む学習支援

- 本事業も「子どもは地域で育てよう」の合い言葉どおり、本当の多くの町民の皆様方のご支援のもとでの事業ということで、頭が下がります。

## III 学校教育の分野

### 事業3-1 地域に開かれた学校経営の推進

- 各学校が開かれた学校経営に努め、保護者・地域に様々な情報発信をしながら、適切な学校評価・学校改善に取り組んでいる。地域住民を外部ボランティアとして招き、授業改善に取り組んでいる。

### 事業3-2 学習指導・教育環境の整備拡充

- まだまだ町財政が厳しい中、より安全で快適な教育環境の確保に向け、様々な整備事業が進められている。一層の事業拡張を期待したい。ICT関連機器の配置にも精力的に取り組まれ、各学校の授業改善に大きく寄与している。

### 事業3-3 特色ある学校教育の推進

- 各学校が、基礎学力の向上や豊かな心の育成に向け、当局の支援のもと、児童生徒の実態に即した特色ある教育活動を展開しており、大きな成果が上がっている。

#### 事業3-4 健やかな児童生徒の育成

- 子どもたち一人ひとりが心身ともに健康で安心して学校生活を送ることができるよう、保健指導や食育指導、安全指導に取り組んでいる。また、町独自で心理カウンセラーや教育支援員を配置するなど、教育相談活動や特別支援教育にも力を入れた教育活動が展開されているのは評価できる。

#### 事業3-5 安全で安心できる学校給食の提供

- 栄養教諭による栄養学習が各校で実施され、各学校での取組も含めて食育指導が適切に展開されていてよい。また、食物アレルギーに対する対応も学校と連携して適切に行われている。

#### 事業3-6 教員の資質向上

- 若手教員の急増に伴い、教員の資質・能力の向上は大変重要な課題である。当局の支援のもと、それに向けた様々な研究・研修が、時には外部講師を招聘して各学校で行われている。また、4校すべての教員が一堂に会して行われている研究協議会は、豊山町ならではの取組で、大変意義深いものである。

#### 事業3-7 魅力ある教員の養成

- 急増する若手教員の育成は重要課題で、校長を中心に各校で組織を挙げて取り組まれている。また、町独自で採用していただいている講師は、指導主事を中心に研修会も実施され、高い意識・意欲をもって各学校で活躍している。是非、今後も事業の継続をお願いしたい。

#### 事業3-8 校務支援の推進

- 教員の多忙化解消に向けた事務処理負担軽減については、当局の指導のもと、IT化による合理化、共同実施化による効率化・適正化が進み、学校全体としての負担軽減に繋がっていて、成果が上がっている。

#### 事業3-9 教員に対する支援チームの結成

- 地域社会や関係機関との連携は、それぞれがもつ教育素材の開発・活用という視点で大きな意味がある。今後もより一層こうした連携を図りながら、教育活動全般の質の向上に努めてほしい。

#### 事業3-10 キャリア教育の確立

- 近年、若者の勤労観・職業観の低下が話題になっている。取り組まれている内容は意義深いものばかりであり、地域に根差した内容も取り入れながら、イベント的に終わらせない、一層の内容の充実を図って進められることを期待したい。

#### 事業3-11 英語教育と小学校外国語活動の推進

- 当局によるALTの配置を中心に、各学校で精力的に活動が実践され、大きな成果が上がっている。小学校英語の教科化に向けて、より一層の研究・実践を期待したい。

#### 事業3-12 情報教育の推進

- ICT機器・教具の配置とその活用環境の整備のおかげで授業改善が図られ、授業実践になくてはならないものになっている。今後も一層効果的なものとなるよう、授業改善に取り組むとともに、当局の支援をお願いしたい。

#### 事業3-13 就学援助の充実

- 当局に就学支援担当者を配置し、より一層手厚く就学支援が行われたのは評価できる。また、就学困難者等への援助も適切に行われており、よい。各制度の保護者等への周知徹底については、継続して繰り返し行っていただきたい。

#### 事業3-14 道徳教育の推進

- 地域の多くの人材を活用しながら、豊かな心を育む教育活動がどの学校でも積極的に実践され、確実に成果が上がっている。当局主催で行われた道徳の研究協議会は、各校の授業力向上に大き

く寄与した。

#### **事業3-15 学校体育・スポーツ活動の推進**

- 体力の低下が危惧される昨今の状況であるが、各学校ともに学校体制として体育的活動、体育的行事を取り入れながら、教育活動が実践されていて、よい。

#### **事業3-16 いじめ・不登校への対応**

- 各学校においては日頃の教育相談活動やいじめ不登校対策委員会の開催など、当局においてはスクールカウンセラーの配置や適応指導教室の運営、町いじめ問題等対策委員会の開催などを通して、大きな成果を上げている。最重要課題であり、今後も引き続き、力を注いでいていただきたい。

#### **事業3-17 生徒指導の充実**

- 「心の居場所」となるような学級・学校づくりが行われ、心の通った日頃の教育相談活動なども功を奏して、大きな成果を上げているのは大きく評価できる。

### **IV 文化財の分野**

#### **事業4-1 文化財の調査・保護**

- 文化財保護審議会を中心に、適切な調査・保護活動が行われており、評価できる。

#### **事業4-2 文化財保護意識の醸成と担い手の育成**

- 文化財研究会においては精力的に多くの興味深い活動が行われ、大きな成果を上げている。

#### **事業4-3 文化財資料の活用促進**

- 郷土資料室では資料収集・整理・展示などが適切に行われており、来場者から好評を得ているのは評価できる。今後、企画展のPRや学校教育への情報提供など、継続的な情宣活動も行われ、一層有効活用されていくことを期待したい。

### **V 芸術・文化の分野**

#### **事業5-1 芸術・文化活動の推進**

- 興味深い文化振興事業の実施や毎年盛大に行われている文化展等、大きな成果が上がっており、評価できる。

#### **事業5-2 文化振興団体、芸術・文化グループや指導者の育成と支援**

- 豊山町ならではの、伝統ある質の高い文化活動であると思う。PR活動等を積極的に行いながら、多くの町民の参加のもと、ますます発展されますよう、活動の活性化に努めていただきたい。